



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 スーパーバッグ株式会社
 コード番号 3945 URL <http://www.superbag.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 福田晴明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 吉田精一

TEL 04-2938-1244

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	20,407	17.7	37	90.3	38	90.3	150	
2020年3月期第3四半期	24,794	3.1	380		394		260	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3百万円 (98.3%) 2020年3月期第3四半期 193百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	98.67	
2020年3月期第3四半期	170.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	15,980	3,167	18.8
2020年3月期	16,288	3,256	19.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 3,003百万円 2020年3月期 3,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				60.00	60.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,900	18.8	280		300		390		255.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	1,686,154 株	2020年3月期	1,686,154 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	157,679 株	2020年3月期	157,578 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	1,528,518 株	2020年3月期3Q	1,528,868 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響を受け、個人消費・企業活動は急激に縮小し、極めて厳しい状況にありました。5月の緊急事態宣言解除後は、徐々に経済活動再開の動きが見られるものの、感染拡大に伴う緊急事態宣言の再発令により、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、飲食店のテイクアウト用包装資材、ECサイト向け宅配資材の販売金額が増加したものの、個人消費の縮小を受け、主要顧客である小売店の包装資材需要は冷え込み、非常に厳しい状況で推移いたしました。

また、プラスチック資源循環戦略（2019年5月31日決定）の取り組みの一環として、2020年7月1日より全国一律でプラスチック製レジ袋の有料化が開始されました。スーパー・コンビニエンスストア・ドラッグストアなど多くの小売り店舗でレジ袋が有料提供され、さらに紙袋についても有料化する動きが進んだことで、消費者の廃プラスチック問題・環境問題への意識改革とライフスタイル変革への契機となりました。11月時点でレジ袋辞退率は7割を超え、当社主力製品であるレジ袋の消費量は急減しましたが、環境配慮型素材を使用したレジ袋への切り替えや、ゴミ袋の拡販といった新たな販売機会の創出として、販路拡大に努めてまいりました。

このような環境のもと、当社グループは『市場の多様なニーズと変化への挑戦』を主軸とし、営業部門においては「売上確保・拡大」「採算性の向上」、調達部門においては「調達原価の低減及び収益の取れる調達先の開拓」、生産部門においては「効率化」、また企業活動全体で『ITの強化とDX（デジタル・トランスフォーメーション）化』を推進し、引き続き需要の開拓と徹底したコスト削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は20,407百万円（前年同四半期比17.7%減）、営業利益37百万円（前年同四半期比90.3%減）、経常利益38百万円（前年同四半期比90.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失150百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益260百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント利益（営業利益）は、8ページ「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用512百万円を配分する前の金額であります。

「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、新型コロナウイルス感染症及び紙袋有料化の影響により、主力の手提袋、平袋及び紙器の販売数量・金額が減少し、売上高は前年同期に比べ2,472百万円減少して7,655百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は生産利益や仕入品の粗利益額が減少し、経費削減により販売管理費が減少したものの、前年同期に比べ400百万円減少して5百万円となりました。

「化成品事業」

化成品事業につきましては、新型コロナウイルス感染症及びレジ袋有料化の影響により、主力のレジ袋、ポリ手提袋、平ポリ袋及びおむつ用製品の販売数量・金額が減少、ポリ宅配袋が増加したものの、売上高は前年同期に比べ1,719百万円減少して7,775百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は売上高の減少をコスト削減で補えず粗利益額が減少し、販売管理費が減少したものの、前年同期に比べ72百万円減少して399百万円となりました。

「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、売上高は前年同期に比べ194百万円減少して4,977百万円となりました。品目ごとの販売構成では、清掃用品、レジ用紙が増加する一方で、包装用品、事務用品、販売用品及びS・V・S商品が減少しております。セグメント利益（営業利益）は粗利益額が微増し、加えて販売管理費が減少したことから、前年同期に比べ88百万円増加して145百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ307百万円減少して15,980百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が834百万円増加、未収入金が125百万円増加した一方、現金及び預金が764百万円減少、電子記録債権が321百万円減少、たな卸資産が156百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ287百万円減少の10,647百万円となりました。固定資産は、設備投資等により189百万円増加、投資有価証券の時価評価差額が84百万円増加した一方、有形固定資産の減価償却費で226百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ19百万円減少の5,333百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ218百万円減少して12,813百万円となりました。これは、未払金及び設備関係未払金が108百万円増加、短期借入金及び長期借入金が668百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が54百万円減少、電子記録債務及び設備関係電子記録債務が522百万円減少、未払法人税等が102百万円減少、未払消費税等が187百万円減少、賞与引当金が121百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ88百万円減少して3,167百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が137百万円増加した一方、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純損失計上により150百万円減少、剰余金の配当で91百万円減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の19.0%から18.8%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期やレジ袋有料化による消費動向への影響などが不透明であり、業績予想を合理的に算定することが困難であることから「未定」としておりましたが、現時点において入手可能な情報に基づき、公表いたしました。

また、配当予想につきましては、業績予想を鑑み、誠に遺憾ながら無配を見込んでおります。

詳細につきましては、本日(2021年2月5日)公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,815	1,050
受取手形及び売掛金	4,700	5,535
電子記録債権	1,065	743
商品及び製品	2,397	2,267
仕掛品	329	250
原材料及び貯蔵品	473	526
その他	155	277
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	10,934	10,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,119	6,134
減価償却累計額	△5,132	△5,180
建物及び構築物(純額)	986	953
機械装置及び運搬具	10,100	9,858
減価償却累計額	△9,150	△8,960
機械装置及び運搬具(純額)	950	898
土地	826	826
リース資産	515	552
減価償却累計額	△253	△287
リース資産(純額)	261	264
建設仮勘定	6	4
その他	783	791
減価償却累計額	△713	△719
その他(純額)	70	71
有形固定資産合計	3,102	3,019
無形固定資産		
電話加入権	15	15
リース資産	8	6
その他	74	66
無形固定資産合計	98	88
投資その他の資産		
投資有価証券	1,095	1,173
破産更生債権等	0	0
事業保険金	82	83
差入保証金	204	203
退職給付に係る資産	340	337
繰延税金資産	425	423
その他	4	4
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,152	2,225
固定資産合計	5,353	5,333
資産合計	16,288	15,980

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,699	3,645
電子記録債務	2,561	2,067
短期借入金	1,668	2,018
リース債務	204	180
未払金	479	520
未払法人税等	116	14
未払消費税等	221	33
賞与引当金	246	125
設備関係支払手形	12	—
設備関係電子記録債務	39	11
設備関係未払金	9	78
その他	156	197
流動負債合計	9,417	8,892
固定負債		
長期借入金	2,387	2,706
リース債務	408	385
役員退職慰労引当金	126	119
退職給付に係る負債	691	709
固定負債合計	3,614	3,921
負債合計	13,032	12,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,457	1,457
利益剰余金	743	501
自己株式	△263	△263
株主資本合計	3,312	3,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△98	39
繰延ヘッジ損益	1	—
為替換算調整勘定	△9	△20
退職給付に係る調整累計額	△105	△84
その他の包括利益累計額合計	△210	△66
非支配株主持分	154	163
純資産合計	3,256	3,167
負債純資産合計	16,288	15,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	24,794	20,407
売上原価	20,231	16,553
売上総利益	4,563	3,854
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,161	1,935
給料及び手当	1,294	1,207
賞与引当金繰入額	60	61
退職給付費用	53	57
賃借料	135	131
旅費及び交通費	83	56
その他の経費	393	367
販売費及び一般管理費合計	4,183	3,817
営業利益	380	37
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	34	34
持分法による投資利益	27	29
受取賃貸料	22	11
作業くず売却益	5	1
受取保険金	2	3
その他	17	12
営業外収益合計	110	92
営業外費用		
支払利息	73	71
為替差損	5	9
賃貸費用	7	5
貸倒引当金繰入額	0	0
その他	9	5
営業外費用合計	96	91
経常利益	394	38
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6
環境対策引当金戻入額	0	—
助成金収入	—	131
特別利益合計	0	138
特別損失		
固定資産除却損	3	6
投資有価証券評価損	—	110
感染症関連損失	—	227
特別損失合計	3	344
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	391	△168
法人税、住民税及び事業税	64	30
法人税等調整額	51	△57
法人税等合計	115	△27
四半期純利益又は四半期純損失(△)	275	△141
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	9
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	260	△150

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	275	△141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	137
繰延ヘッジ損益	2	△1
為替換算調整勘定	△41	△1
退職給付に係る調整額	13	20
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△10
その他の包括利益合計	△81	144
四半期包括利益	193	3
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184	△5
非支配株主に係る四半期包括利益	9	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,128	9,495	5,171	24,794	—	24,794
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,128	9,495	5,171	24,794	—	24,794
セグメント利益	405	471	56	934	△554	380

(注) 1. セグメント利益の調整額△554百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,655	7,775	4,977	20,407	—	20,407
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,655	7,775	4,977	20,407	—	20,407
セグメント利益	5	399	145	549	△512	37

(注) 1. セグメント利益の調整額△512百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。